

岩手県コース

■匿名希望■

「無常」。どんな平穏な日常も、一瞬にして瓦解することがこの世にはあり得る。

これが、今回、2日間の復興応援ツアーに参加しての私の感想である。

私事だが、私には、5年前から病床で呼吸器を着け、神経難病に苦しむ父がいる。

介護をしている母によれば、震災の数日後、初任地であった釜石の街が津波に破壊される映像を父は見て、涙したという。父の心中はいかばかりであったか。想像に難くない。私も現地を見た。街自体に漂う覇気の無さに絶句するばかりであった。

同時に、息子である私たち兄弟にとっても、将来の人生設計の大きな変更を余儀なく

された。私たち家族にとって、父の難病は、まさに「青天の霹靂」であった。

しかし、被災地の方々はどうか。自然災害によって引き起こされたあらゆる不遇に耐え、

少しずつかもしれないが、強く逞しく生きようと前を見ているのではないか。

これからも、もっと自分に厳しく、強く生きていきたい。

帰路の機中にて。心から合掌。